

まえがき

2015年11月の総選挙でミャンマーは歴史的な政権交代を経験することになった。この出来事については日本でも多くの報道がなされてきたが、アウンサン スーチー氏の率いる国民民主連盟の圧勝という結果からもう一步踏み込んだ分析的な記述となると、国内外を含めてそう多くなされているわけではない。2015年ミャンマー総選挙の経過と結果を分析する本書は、このギャップを埋め、将来、この選挙を振り返る際の基礎的な資料を提供することを目的としている。

本書は、アジア経済研究所が組織した機動研究会の成果報告である。この機動研究会は、共著者の3人を委員として選挙前の2015年10月に組織され、選挙の投票日に合わせたミャンマー現地調査と、その前後3度の国内研究会を実施して、資料の収集と情報の整理・分析を行った。

研究会の調査活動の過程では多くの方々にご協力をいただいた。ここですべての方のお名前を記すことは差し控えるが、選挙の候補者についての詳細なデータベースを提供してくださった Open Myanmar Initiative にとくに感謝を申し上げたい。本書の記述にオリジナリティがあるとなれば、それはこの候補者データベースに負うところが大きい。また、いち早く選挙結果を分析し、その情報を共有してくださった北九州市立大学の伊野憲治先生にも御礼申し上げたい。

本書の内容は、おおむね2016年5月までの情報に基づいている。アウンサン スーチー政権発足後の動向については、またいずれ別の機会にまとめることができると考えている。

共著者を代表して
長田紀之
2016年7月10日